



発行 2010年 8月 5日

社団法人 千葉県鍼灸マッサージ師会 会報

★本年度のスローガンは

皆で創ろう、健康長寿。
皆で築こう豊かな未来。
皆で広げよう仲間の輪。

H22 夏
会報通算 45号



発行所 〒263-0021 千葉県千葉市稲毛区轟町 4-6-23 グランドメゾンとどろき
TEL 043-290-7538 FAX 043-290-7539 <http://www.zensin.or.jp/~chiba/>
発行者 社団法人 千葉県鍼灸マッサージ師会
発行人 (会長) 越川和夫
編集人 (広報部長) 酒井茂一

巻頭言 P2

新役員紹介 P3～6

地域代表者紹介 P7

国体準備報告 P8

地域ニュース P9

325名の分のWebページが完成！ P10

アンケート分析（研修会希望曜日） P11～12

すいかロードレース活動報告 P13～14

編集後記 P14

表紙の写真ですが、今は香取市、水郷佐原と呼ばれているところにある常陸利根川（北利根）で行われる花火大会準備中の鯉（はしけ）です。

日も落ちかかって、これから観客が続々と護岸に集まり出します。その花火大会を毎年川に浮かべたボートから酒瓶抱えて私達は待ち構えているのです。

真っ暗な夜空を見上げた観客の頭上に彩り鮮やかな華が咲き開き、天から火の華びらがハラハラと舞い落ちます。色彩な色と音の綾なす実に感動的な日本の夏の一場面という感じです。



「千葉県鍼灸マッサージ師会」のブランド力を高めて、 皆で築こう豊かな未来

会長 越川 和夫

「皆で創ろう、健康長寿」、「皆で築こう豊かな未来」、「皆で拵げよう仲間の輪」を合言葉にスタートした越川体制も 2 期目を迎えます。今年の最重要事業は公益社団法人の実現です。そして、重要事業として国体・障害者大会への支援が本番を迎えます。皆様よろしくお願い申し上げます。

私は、鍼灸マッサージはその実力の 1%も活かされていないと思います。逆に言うと、無限の可能性を秘めた業界、それが私達の鍼灸マッサージ業界です。ただし、21 世紀に入り、社会情勢が大きく変化しました。

今、一番重要なことは社会の変化に合わせ、私達もチェンジし、チャレンジし、チャンスをつんで無限の可能性を活かしていくことと思います。そして、そのための今一番の大きな課題は二極化に対応していくことと思います。

今のまま何もしなければ、「大病院志向」という言葉に代表されるように、患者さんは大きな所へと一極集中していきます。結果、大病院や大手の事業所は患者さんが集中しすぎて困っています。私達の多くは個人経営が主体ですから、このような現実のもとでは取り残されてしまいかねないのが現状です。

では、どうしたら良いのか？その答の 1 つとして、「千葉県鍼灸マッサージ師会」をブランド化し、集患窓口化していくというシステムの検討が必要と思われます。

このことは、個人タクシーの例が参考になろうかと思えます。個人タクシーでは組合の配車センターが一括して受付・受注し、地域の個人タクシーにお客様を紹介・連絡というシステムを採用することで、大手のタクシー会社に対抗しています。

同様に、私達の場合も、県師会事務所に総合受付センターを設け、会員治療院に紹介していくシステムの検討が必要になってきたように思えます。

勿論、従来のもままでなんら問題ありません。ですが、二極化に対処していく 1 つの方法として今後ますます重要になっていくものと思います。是非や、具体的方法等については、今後皆様のお知恵をお借りしながら、意見交換し、より良いシステムを考えていきたいと思えます。

そのためには、「許し合い、助け合い、長所を活かし合う」県師会にしていくことが重要と思えます。そして、「許し合い、助け合い、長所を活かし合う」県師会にするには、皆で「皆の幸福のため」という中心を共有し、資質の向上を図り、「千葉県鍼灸マッサージ師会」をブランド化していくことが重要と思えます。



皆様のご理解・ご協力に感謝申し上げますと共に、引き続きご高配くださいますようよろしくお願い申し上げます。

新役員紹介

以下の通りとなりました。よろしくお願いたします。

平成 22 年度役員			
会長		越川 和夫	
1. 「健康長寿の創成」、「皆の幸福の推進」が理念です。 2. 長所を伸ばし、自己実現を支援することで「無くてはならない健康長寿のプロ集団」を目指します。 3. 県民の皆様と共に、県民の皆様のニーズにお応えした業を推進します。 4. 「許し合い、助け合い」の組織にし、関係団体と連携し、理念の達成を目指します。 5. 県民の皆様への感謝・恩返しので公益事業を推進します。			
副会長(筆頭)	統括	石川 英樹	
1. 筆頭副会長 会長に万一の時は会長を代行 2. 会務全般の統括 3. 法制部担当 4. 公益法人、協同組合担当 公益社団になれるように中心になって準備 5. 補助金担当 今後の課題である共同治療院等、補助金、助成金を活用し、会員の業の発展につなげる 6. 定款、規則担当 公益社団になれるように、定款や、規則等を整備			
副会長(次席)	組織部長	染谷 雄一	
1. 次席副会長 2. 総合調整担当 3. 組織部長 会員増など組織強化を担当 4. 医療推進協担当 医師会等の活動に協力し、医師会・歯科医師会・薬剤師会・看護協会等との連携を推進し、医療保険の会員を中心に、医師との協調医療を推進することで業の発展を図る 5. 千視協・全病理担当 千視協・全病理との連携を推進する 6. 名簿の発行・管理 7. 事務所管理担当 事務所が円滑に運営できるように調整し、事務全般を管理する 8. 視覚障害担当 視覚障害者が参加しやすい会にし、視覚障害会員への各種支援を行う			
常務理事	学術部長	元吉 正幸	
1. 常務理事、学術部長 会員の資質の向上を図り、業の社会的地位を向上し、増収に直結する研修会を開催 同時に、他団体との学術交流を推進し業団の連携を推進 2. スポーツセラピー担当 スポーツ鍼灸セラピーを通して業団の連携および国体への協力 会員が治療院においてスポセラを活用して業が発展するように臨床的なスポセラを推進 3. 日鍼会・柔整師会担当 日鍼会、柔整師会と連携して活動が推進できるように、グローバルな活動を推進 4. 日東医担当 業の社会的地位の向上のためには日東医を活用し、レベルアップを図る 日東医の中に、1) スポセラ部会/2) 代替医療部会/3) 自律神経と免疫療法部会/4) 介護予防部会/5) 疾病予防部会/6) 健康づくり部会等の設置を模索し県師会が推進している業団での活動をレベルアップを図る。			

常務理事	保険部長	矢島 実	
1. 保険部長 保険全般を担当 返礼等の会員指導、保険審査 2. 助成券担当 市町村等の助成券を推進することで業の発展につなげる 3. 保険推進、業の発展を推進する 4. 国体・障害者大会、スイカロードレース等の支援 5. 新卒者の相談・育成を行う			
理事	広報・IT 部長	酒井 茂一	
1. 広報部長 広報全般を担当 対外的な広報活動、会報発行やお知らせ等会員向けの対内的広報活動を担当 2. IT を活用することで会員の仰臥発展するように推進 特にホームページの活用を図り、メールの管理者として、皆が使いやすいメールを推進 3. 関東鍼灸担当 関東鍼灸との連携を推進する 4. 鍼灸学会担当 学術面で連携する友好団体として連携を推進し、業の発展に活用する			
理事	青年・女性部長	長田 和子	
1. 青年・女性部長 若い会員や、女性会員が県師会に参加したくなるような活動を推進し、青年・女性の活力を活用する 2. 生涯研修の単位管理や申請等を行う 3. 新卒者の相談・育成を行う 4. 美容鍼灸等、マイスター事業を推進する 5. パンフレット等、新卒者等のニーズに応えた各種企画をし、入会者増加対策を講じる			
理事	財務部長	平岩 恵子	
1. 財務部長 財務全般を管理・執行する			
理事	渉外部長	室田 智	
1. 渉外部長 対外活動の推進 2. 他団体への補完交渉、対話等を通して、当会が対外的に円滑に活動できるようにする 3. スポーツ鍼灸マッサージ担当 理学療法士会、アスレチック協会等関連団体と連携し、スポーツ鍼灸マッサージ等を推進 4. 会員の自己実現を支援し、アスレチックトレーナー等、関連資格の取得を支援 5. 国体・障害者大会、スイカロードレース等の支援			
理事	総務部長	米井 昭夫	
1. 総務部長 総会・理事会等の連絡・調整を行い、円滑な運営を図る 理事や支部長との対内的連絡、調整 2. 点字印刷担当 3. 千葉学会担当 4. 学術部担当			
理事	鍼灸部長	上中 三二	
1. 鍼灸部長 鍼灸(はり・きゅう)等の普及促進を図り、県民の皆様の健康と疾病予防に貢献する。 2. 保険部次長			

理事待遇	マッサージ部担当 学術部次長	大石 俊英	
1. マッサージ部担当 マッサージ等の普及促進を図り、県民の皆様の健康と疾病予防に貢献する。			
理事待遇	無資格対策委員	富森 猛	
1. 無資格対策委員 県民の安心・安全を守る無資格対策等を推進			
相談役	会誌編纂 表彰	多治見茂男	
監査		杉田 秀雄	
監査		堀切 博昭	
倫理委員		越川 和夫	
倫理委員		飯作 吉民	
倫理委員		関 静夫	
倫理委員		宮本 保彦	
選挙管理委員		米井 昭夫	
委員長		小金井宏和	
委員長		関 静夫	

<<新理事他のご挨拶>> いただいた原稿順

【富森】

このたび主に無資格マッサージ問題を担当させていただくことになりました市川市の富森猛と申します。

私共の業界内におきまして、無資格マッサージ問題は長年に渡り大きな懸案事項になっております。しかしながら世間一般では「マッサージ業をおこなうには国家資格が必要である」という知識すらもお持ちでない方がかなり多いというのが現状ではないでしょうか。

それどころか「整体やカイロ業者は有資格者である」という誤った見方をされている方も少なからずいらっしゃるよう見受けられます。

県民の方々への正しい知識の啓蒙活動と並行して無資格マッサージ業者の取り締まり強化に向けて微力ではありますが活動させていただく心積もりですので、何卒ご指導方よろしくお願い申し上げます。

【上中】鍼灸マッサージ等の役割を模索し社会貢献の在り方を考え前進しましょう。

越川会長より、理事に、とお話しをいただいた時、私は驚きました。なぜ、それは、私は理事にはふさわしくない、と思ったからです。

私は昭和53年に鍼灸治療院を開院し、並行して、診療所非常勤、ケアマネ事業所併設、社会福祉士事務所併設と、いわば二足のわらじを履き続けている人間だか

らです。

しかし、越川会長の「皆の幸福の推進」、「長所を伸ばし、自己実現を支援する、無くてはならない健康長寿のプロ集団を目指す」、「県民の皆様と共に、県民の皆様のニーズにお応えした業を推進する」、「許し合い、助け合いの組織にし、関係団体と連携し、理念の達成を目指し、県民の皆様への感謝・恩返しの中で公益事業を推進する」、をお聞きした時、それなら、私の目標とも共通するものであり、非力ながら会員・役員の先生方のお力添えをいただければ、私でも何とかなるのではなかろうかと考え、お引き受けすることにいたしました。私の抱負は、以下の2点です。

1. 鍼灸（はり・きゅう）等の普及促進を図り、県民の皆様の健康と疾病予防に貢献する。
2. 鍼灸（はり・きゅう）等の保険適用や助成事業を推進し、県民の皆様の健康と疾病予防に貢献し、業の発展に寄与する。

さて、わが国における鍼灸マッサージ等の歴史は、漢方医学とともに遠く8世紀初頭大宝律令の時代にまでさかのぼることができます。この鍼灸マッサージ等が、明治、第二次世界大戦後、そして、平成の今、3度目の危機にさらされようとしています。

ピンチはチャンス。このチャンスを見逃すことなく、鍼灸マッサージ等の世界的見直しの潮流に乗り、鍼灸マッサージ等の保健医療福祉における役割を模索し、社会貢献の在り方を考え、社会貢献ができるよう、具体的な方法を見つけ出し、一歩でも二歩でも前進できれば、私の使命は達成できるものと考えております。

会員・役員の先生方、どうぞ、よろしくお願いいたします。

【長田】

皆様はじめまして。このたび『青年・女性部長』に任命されました長田です。

若い会員の方や、女性会員の皆様が県師会に参加したくなるような何か活動ができれば…とっております。

どこまで何ができるか、まだまだ右も左もわからない状態ですが越川会長はじめ会員の皆様方のご指導、ご鞭撻の下、一步一步精進していきたくと思います。

どうぞ温かい目で、時には厳しい目で見守って頂ければ嬉しいです。

若輩者ですがよろしくお願い申し上げます。

【元吉】

常務理事、学術部長2期目。今年は担当のゆめ半島千葉国体、全国障害者スポーツ大会の鍼灸マッサージテント開設の夢を果たすべく頑張ります。

そのために必要なことは柔道でいえば「自他共栄」の精神で行くということでしょうか。自律する人間、自分を信頼できる人間作りをスポーツ鍼灸マッサージの技の研磨の中でお互いに作り上げて行きましょう。

【酒井】

会報発行と同時に当会 Web の中に PDF ファイルとテキストファイルで会報を同時発行する手筈を調べました。今後の広報は晴盲バリアフリーを心がけます。

地域代表者紹介

地域	氏名	電話	治療院	郵便番号	住所
旭	石橋和彦	0479-62-2443	石橋治療院	289-2515	旭市西足洗 3569
安房	鈴木義昭	0470-96-0366	吉浦治療院	299-2866	鴨川市江見吉浦 20-2
夷隅	元吉正幸	0470-73-9780	元吉接骨院・ 南風堂はり・温灸院	299-5225	勝浦市墨名 815-25
市川	富森猛	047-357-3393	やすらぎ治療室	272-0133	市川市行徳駅前 1-12-2
市原	弧田秀二郎	0436-74-0662	コモダ治療院	290-0002	市原市大厩 1790-64
印東	鈴木順	043-443-3447	鈴木はり・きゅう治療院	289-1115	八街市八街ほ 176-6
柏	北野富夫	04-7198-2490	北野鍼灸治療	277-0222	野田市木間ヶ瀬 4750
香取	越川和夫	0478-83-3624	越川鍼灸院	289-0336	香取市新々田 37-16
木更津	鈴木正司	0438-41-4813	健康プランナー「ススキ」	292-0014	木更津市高柳 5526-3
佐倉	日向正彦	043-489-9322	日向はり灸院	285-0843	佐倉市中志津 2-35-1
匝瑳	宮本保彦	0479-85-1331	ヘルスケアアルファー	289-1727	匝瑳郡光町宮川 6039-20
千葉	米井昭夫	090-4742-3708			
	杉山祐介(代理)	043-284-3489	都賀光明堂治療院	264-0026	千葉市若葉区西都賀 1-14-9
銚子	鈴木一男	0479-22-6994	鈴木治療院	288-0802	銚子市松本町 2-810-4
長生	岡本昌克	0475-23-6569	なのはな鍼灸院	297-0074	茂原市小林 2724-10
東金	村上えい子	0475-52-4509 043-227-7269	村上はり灸治療院	283-0811	東金市台方 3
習志野	杉田秀雄	047-473-0434	杉田治療院	275-0002	習志野市実靱 6-21-11
成田	宮永一郎	0436-92-7083	いしかわ治療院	286-0201	富里市日吉台 2-6-7
船橋	藤林克仁	047-438-3111	藤林鍼灸治療院	273-0866	船橋市夏見台 2-4-15
松戸	青木英則	047-364-1011	青木鍼灸院	271-0062	松戸市栄町 3-146-1
八千代	保土田美代子	047-483-0003	保土田マッサージ	276-0028	八千代市村上 4502-8
四街道	藤澤敏人	043-422-2014		284-0021	四街道市栗山 965-25

国体準備報告

ゆめ半島千葉国体・全国障害者スポーツ大会鍼灸マッサージについて

学術部長 元吉正幸

いよいよ、ゆめ半島千葉国体・全国障害者大会開催がちかづいてきました。

かねてより国体・障害者大会において鍼灸マッサージによる大会関係者、選手の支援を行うために、行政に働きかけ、新潟国体で大成功を収めた「トキめき新潟鍼灸マッサージ協会」を千葉県行政が視察たおり、私も現地でその説明をし、理解と支援が得られることとなり、白子町で9月26日(日)~29日(水)に開催されるソフトテニスと10月2日(土)から4日(月)に開催される空手競技に参画できる運びとなりました。

当会で多大な支援を受け、鍼灸業界、鍼灸マッサージ養成学校の参画が得られるよう「ゆめ半島スポーツ鍼灸セラピー千葉」を立ち上げ活動が始まっております。

昨年度の生涯研修会はスポーツ鍼灸マッサージ領域研修会を兼ね、所定の単位修得者は「スポーツ鍼灸マッサージ領域研修修了者」(ベーシックコース)とし16名の修了者が誕生いたしました。

今後ともスポーツ鍼灸マッサージの発展のためよろしく願いいたします。



トキめき新潟スポーツ鍼灸マッサージ協会の国体での活動の様子

国体についてはソフトテニスと空手競技合わせて 8 日間の鍼灸マッサージ支援となります。1 日につき最低 7 名、延べ人数で 56 名の鍼灸マッサージの有資格者を募り、国体での活動を成功させたいと念願しております。

今年の生涯研修制度も引き続きスポーツ鍼灸マッサージ領域研修を兼ねております。所定の単位 30 単位でベーシックコース修了者となり、60 単位でアドバンスコース修了者として、当会でのスポーツ鍼灸マッサージの指導者を養成していきます。

●国体で活動していただく先生を募集いたします。

＜最低条件として＞

- 1、施術者としての倫理と組織活動が十分理解できている方、
 - 2、最低説明会に 1 回参加できる方、
 - 3、臨床経験がある方
- とさせていただきます。

上記の最低条件がない場合はテント系事務系の支援も必要となりますので、参加を希望される方は、事務所の市川さんが担当でとなっておりますので希望をお伝えください。

●全国障害者大会は 10 月 22 日(金)練習日～10 月 25 日(月)の 4 日間です。

この活動は当会を含め 6 団体が一堂に介し行政が主体となり競技が進捗しています。こちらでもできる限り多くの先生方の御協力を頂き成功させたいと思います。

＜参加条件は国体と同じです＞

詳しいことは決まり次第会員の皆様にお伝えしていきますので、よろしくお願いたします。また今年度の生涯研修会と説明会の中で進捗状況をお伝えし、組織作りをしていきますので是非ご参加をお願いいたします。

地域ニュース【鍼灸マッサージ等施設利用券削減状況】

千葉地域代表代理 杉山祐介

千葉市におきましては、本年度より、鍼灸マッサージ利用券の大幅な、削減が実施されました。

昨年、秋ごろより、千葉市行政当局、及び議会、各政党に対しまして、積極的に働きかけをしてまいりました。その結果、一時、年間6枚まで、減らされた、年間発券枚数を議決ぎりぎりの段階で、何とか10枚まで増やすことが出来ました。しかしながら、昨年度の24枚から考えると半分以下という、悲しい現実となってしまいました。

市長サイドでは、更なる市財政削減を念頭に来年度予算策定に望んでくると思われます。何も行動を起こさないと、同制度の廃止も十分に考えられる、状況だと思われれます。従いまして、以前にも後期高齢者医療制度発足の際、行いある程度の実績をみる事が出来た署名活動を再度、実施する事になりました。

署名用紙を当会Webページに掲載いたします。趣旨にご賛同頂ける、千葉市民の方、鍼灸マッサージ師の方がいらっしゃいましたら、是非、署名用紙をダウンロードして頂き出来るだけ多くの署名を集めて頂けるよう、お願い申し上げます。

URL(<http://www.zensin.or.jp/~chiba/doc/image/2.pdf>)

尚、回収は8月10日ごろとさせていただきます。

〒263-0021 千葉市稲毛区轟町4-6-23-202 電話 043-290-7538

(社)千葉県鍼灸マッサージ師会 事務所 迄、ご送付下さい。

市川地域代表 富森猛

市川市におきましても平成18年度より所得制限が導入されてしまいました。

市川市鍼灸マッサージ師会も同様に署名活動を致しました。

別添の文書と署名用紙を同封して郵送し助成券の登録施術所160か所全てに会員が手分けをして電話連絡いたしました。最終的には1,300件以上の署名をいただき市川市福祉部とも数度に渡り顧問議員を交え交渉しましたが再改正はなりません。もっとも、役所への市民からの抗議の電話も相当あったようで、更なる助成券事業の縮小への抑制効果は期待できるように感じましたが・・・。

所得制限前と後のデータは下記のとおりです。

	予算額	決算額	利用実人数
H17年	47,650,000円	45,080,800円	3,868人
H18年	42,345,000円	33,698,000円	2,241人・・・所得制限導入
H19年	36,924,000円	28,962,000円	1,900人

325名の分のWebページが完成！

広報（IT）部 酒井

先に行ったアンケート調査資料に基づいて、(社)千葉県鍼灸マッサージ師会会員一覧に登録された会員一覧からURLをクリックすると、自院のWebページを持っていないところでも県師会広報部が作成した325名分のそれぞれのWebページが開くようになりました。インターネットに接続できる会員の皆さんは一度ご覧になってみてください。

【表示される項目】

- 1) 治療院名称
- 2) 千葉県鍼灸マッサージ師会会員
- 3) 住所
- 4) 氏名
- 5) 電話番号
- 6) PR文章

記載が無い場合は「当院は国家資格（厚生労働大臣免許）を有する者が治療にあたる安心・安全な治療院です。各種アドバイスなども行っており、千葉県鍼灸マッサージ師会会員です。」となっています。

- 7) 施術（種別・日・英）

「鍼灸・マッサージ・電気治療等内容により異なりますので直接おたずねください。（Acupuncture Moxibustion Massage）」となっています。

- 8) 施術（内容）

アンケートに記載が無い場合は空欄

- 9) URL

自院のWebがある場合はそれを、無い場合は空欄

- 10) 特典

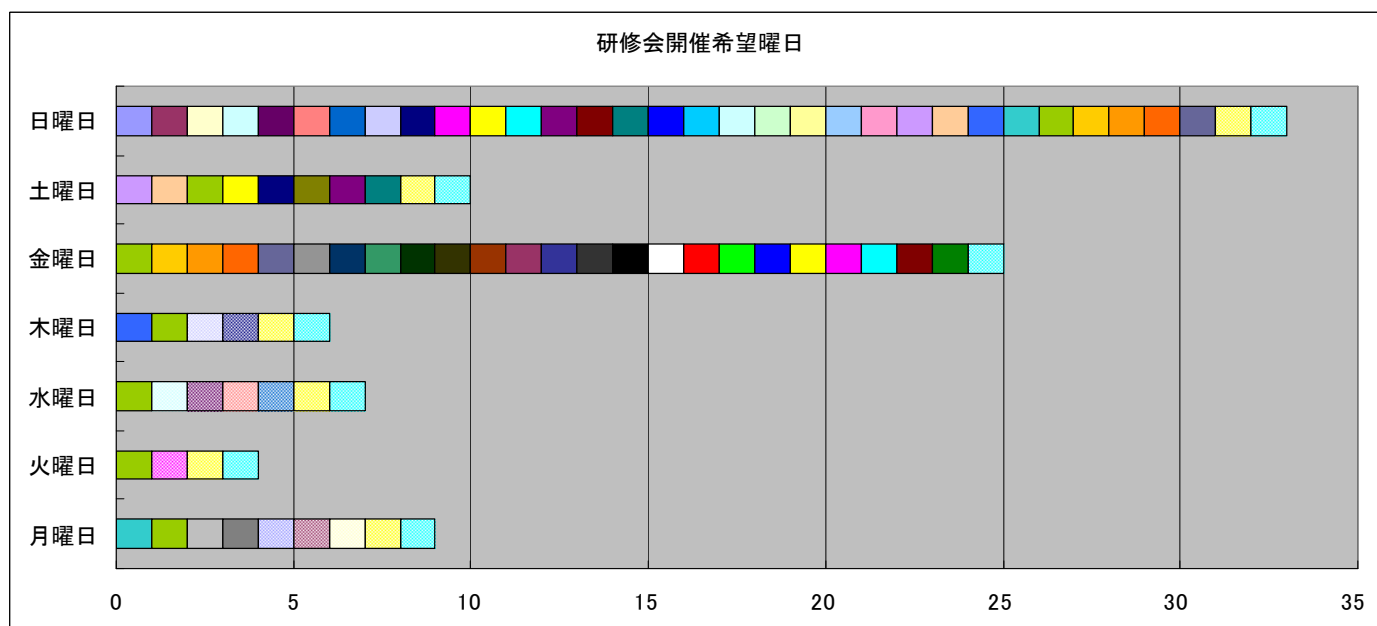
「ネット割引等がある場合があります。「チバマ Web を見てきた」とお伝えください。」となっています。できましたら何か小額の粗品または割引を用意していただけるといいかと思えます。

- 11) 地図

住所から検索して自動的に表示されます。

アンケート調査の結果から（研修会希望日）

研修会希望曜日だけを統計解析しグラフにしてみました。この結果を見ると日曜日希望されている方が一番多いようです。先日発刊された「医道の日本の休診日アンケート調査」によれば金曜日が一番少ないです。土日休みの患者さんが多いので金曜は随分前から「ハナキン」と呼ばれ、休み前に患者さんが多く来院する曜日となっていますので当たり前とは思いますが。以下に理事メーリングリストからの会話を抜粋編集しました。会員の皆さんは、どうお考えになりますか？



@約 360 名の会員のうち、金曜休診の方が大多数な点字の方が 60 名位な当会の現状を考えると、意外とというか、依然として金曜日が多い、のかな??

@最近入会される方は、ほぼ日曜休みを取っているようです。これも、時代の変化だと思えます。しかしながら、すべての会員がこれにならうことはできないと思います。

@はい。依然として金曜定休の旧来の会員も居ますしね。休日変更は、なかなか難しいかと思えます。ただし、一番大切なのは患者さんのニーズやウォンツをつかむということではないでしょうか? 私たちは患者さんが増えないことには業が成り立たないわけですから。

治療院ありきの考え方というか、「昔からこうしてきたからこれからも同じ」では下手をすると収入減のスパイラルに陥っているかもしれない。

自院を取り巻く環境の分析を行って、何曜日が一番休んでも差し支えないか?あるいは、一時的に多少収入が減っても思い切って休診にしてしまった方が結果的に長いスパンで考えれば収入増につながるのか、いろいろ考えた上で決めたらいいのでは?と思うのですよね。

何故 業界では日曜休診が一番多いのか?という理由というか分析も必要かと。その上で、今後の会員増には何曜日に研修会や総会をもってきたら一番ベストか考える必要があるような気がします。

特に今回アンケートに答えてくれた方達は積極的に会活動に協力しようという意思がある方達ばかりで、そういうバイアス(統計誤差)がかかっています。

研修会にも参加される方はごく一部の常連の方だけで、アンケートに答えてくれた方とほぼ同じ人たちです。

必要なのは、こういう人たちの意見を組み入れ、新規入会者を満足させられるだけのものを提供することではないでしょうか?会の更なる発展のためには。

今度鍼灸学会の大会があるのですが、勉強してるぞ～！という（形だけでも）姿勢も患者さんに対する「質の高い鍼灸院」という評価につながるのでもいいのです（笑）この手の勉強会は大概、土曜～日曜日なんで休診にせざるを得ない。

@「自院を取り巻く環境の分析を行って、何曜日が一番休んでも差し支えないか？」を考える。その通りだと思います。ただ、この点はある程度結論が出ている気がします。当会の視覚障害の先生は地方に多い気がします。

地方においては患者さんの足の無い（車で送ってくれる家族が仕事でいない）ことや病院が送迎している平日は患者さんが一人も来ないことが多いようです。

逆に、晴眼の先生は往療を主体にされている方が多い気がしますので、家族が集まる団欒の妨げ??になりかねない休日に営業するより、平日のほうが仕事がやりやすい面もあるのではないかと思います。

なので、休日問題は「お互いに尊重しあう」が現状では必要な気がします。そして、その結果が現在のように当会活動日を金・日併用にしている所以です。

ただ、公益社団への移行を踏まえ、理事会等を日曜主体にせざるを得ない現実も無視できません。なので、視覚障害者への配慮がますます重要になってくると思われれます。

@最近研修会が日曜に開催されることが多いですが、できるものなら日曜だけではなく金曜にも研修を入れ、金曜だけでも、単位を取得できるのは本来の姿だとは思いますが、いかがでしょうか？視覚障害者への配慮として。会長のご意見は？私の考えが古いのでしょうか？

@金曜日の研修会が取れず大変申し訳なく思っています。しかし最近の大学助教授教授となると金曜日には呼ぶことが出来なく宮本先生にも森山先生にも日曜日のみしか日程がとれませんでした。

国体が終了後は金曜の研修も考えていきます。また平日短時間のものもあつたらなどと話していますが金曜日に時間の取れる講師は困難になりつつあると感じます。

他県では全鍼系は金曜日が主流なのでしょうか？私は群馬県鍼灸マッサージ師会に講師として呼ばれていますが日曜日です。

@金曜開催に大賛成です。というか、絶対に必要なことと思います。

ただ、学術部に全てをお願いするというのは厳しい気もしますので、鍼灸部やマッサージ部、何なら総務部もありかも??他の部で計画し、単位取得できるようにするというのも手かだと思います。

総合調整の適任者を得たことでかなり弾力的な運用が出来るのではないのでしょうか??皆さんでよい方向に協議いただき、是非とも視覚障害者への配慮は当会の伝統にしていきたいと思えます。

第27回 富里スイカロードレース大会 2010.6.27 (日)

今年も **甘〜い** スイカをたっぷりご用意!

スイカロードレース無料奉仕報告 (取材)

広報部 酒井

「給スイカ所」で有名なスイカロードレースに成田鍼灸マッサージ師会が主催、県師会が協力する形で去年に引き続き今年もマッサージの無料奉仕を行いました。

13,050名のマラソン参加者という中でメディアの注目も多く、去年と同様の人数(70名強)が治療を受けにこられました。

今年は、マッサージだけでなくセイリン社様のご協力をいただいて円皮鍼が無償で提供されたので、これを活用した疲れ防止のような予防的な治療で大好評をいただきました。

商品はパイオネックスというもので、刺入時の痛みは全く無いので初めての体験で当初怖がっていた中学生などに治療の感想を聞くと、「全然感じなかったし痛くなく怖くなかった」とのことで、喜んでいただけました。

この商品は通気性が高いマイクロポアテープを使用しているのです、ムレたりかぶれたりすることが少なく、暑い季節でもベタつきにくく、貼り易くはがれにくいのでスポーツ選手や小児などには最適なもので私は多用しています。

最近注目されているコスメティックアキュパンチャーでも、パックのように使用可能な



ので、今度県師会有志による研究会でも組織してこの分野のノウハウをお互いに情報交換しよう

と急遽話が持ち上がったほどです。

左の写真で治療に当たっているのは上中先生です。先生は中学高校と陸上競技をされていて1キロ3分台で走る俊足ランナーでした。

今も現役でスローランニングを楽しんでおられ、若い奥さんのためにアンチエイジング?でしょうか。(笑)



ランナーの体のことをよく理解した上でアドバイスなども細かくされていて、治療を受けていたランナー（しゅっちゅう42キロのフルマラソンを走り100キロのウルトラマラソンも参戦）も大変満足して帰られました。

きっと帰ってからランニングクラブの皆さんにスポーツセラピーの良さを宣伝してくれるでしょう。



成田鍼灸マッサージ師会 会長 宮永先生 県師会 常務理事 元吉先生 の指示の元でテキパキと自分の仕事をこなす参加者（トレーナー）達。

「安心安全マーク」を掲げた県師会の旗の下、いいデモンストレーションが行えました。

編集後記

酒井

スイカのマットの上に500円玉が落ちていました。それを見て元吉先生は、「缶ジュースを買うためランナーがポケットに入れていたものでしょう」と言いました。この意味がわかった者は何名かいたものと思いますが、ランナーは自らの命を守るために常に走る時はポケットに1コインまたは数千円のタクシー代を忍ばせています。湿度と気温の高い今の季節こまめな水分補給は欠かせません。喉の渇きを感じてからでは遅すぎます。

当会事業でも同じで、Plan（計画）Do（実施・実行）Check（点検・評価）Act（処置・改善）のPDCAサイクルで螺旋を描くように1周ごとにサイクルを向上（Spiral up）させ計画的で継続的な運用を図ることの大切さを感じます。